

リーディングDXスクール事業【実践事例】

山江村立山田小学校（熊本県）【指定校】

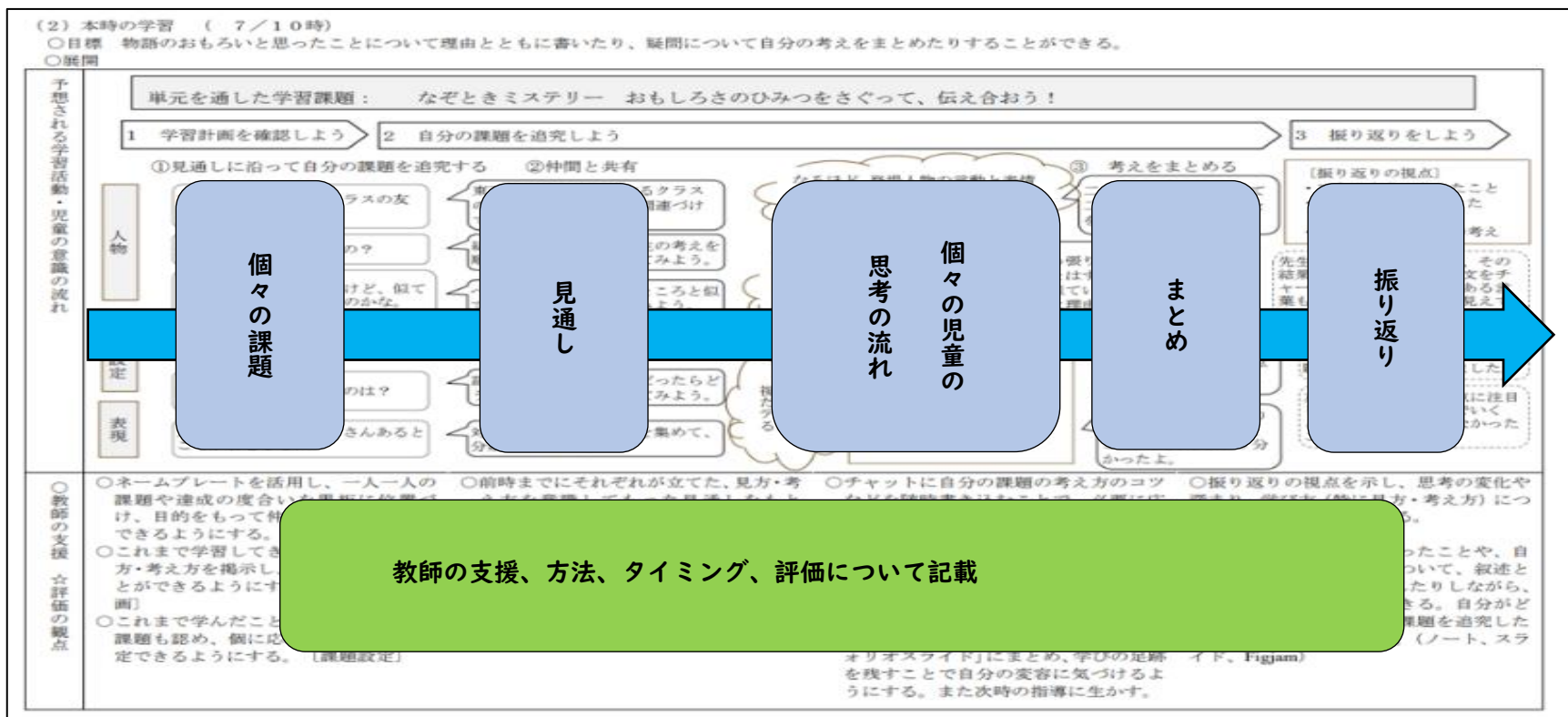
【取組内容】 子どもの見取りと評価の工夫

① 評価方法・時期・観点の明確化

●構想案の形式を変更

単元計画や本時の流れを個々の思考の流れを示すことができる形式に変更した。これにより、見取りや評価の方法、タイミングを授業者が事前に想定しやすくなるようにした。

また、思考中の児童に、どのような支援が必要になりそうか、どの考え方の児童同士で他者参照すれば、より多面的な見方になったり、思考が深まったりするかを支援することに役立つようにした。



リーディングDXスクール事業【実践事例】

山江村立山田小学校（熊本県）【指定校】

【取組内容】 子どもの見取りと評価の工夫

② 評価の共有

●評価を共有するよさ

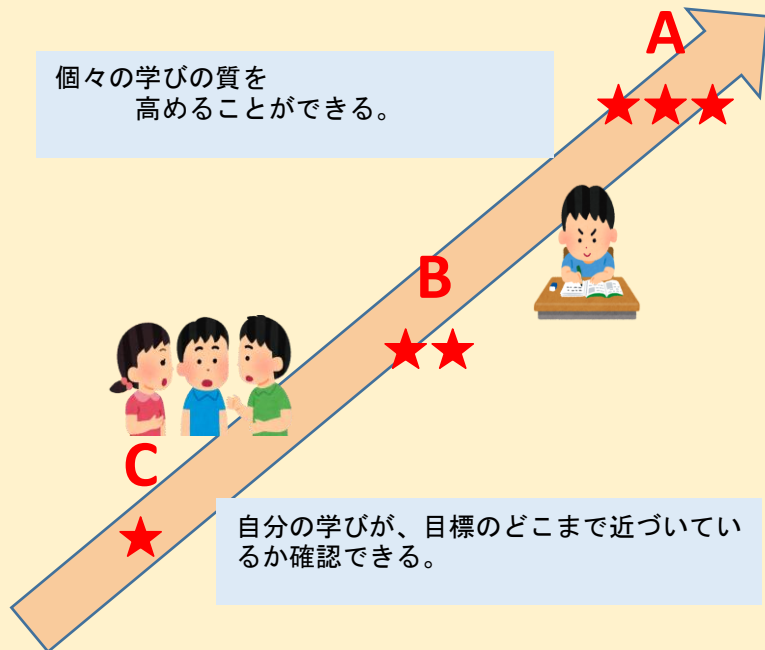
自分の学びが、目標のどこまで近づいているか確認できることで、個々の学びの質を高めることにつながった。

●共有方法

学びのガイドや本時の流れを児童に示すものと一緒に、評価についても児童に示すことができた。

●評価を共有するよさ

個々の学びの質を
高めることができる。



年「単元名」学びのガイド A

この勉強ができたなら、 こんなことができるようになる	・構想案に示す「単元終了時の児童の姿」を、児童向けに示した もの。		
単元を通した学習課題	・構想案に示す「単元を通した学習課題」を児童向けにしたもの や、児童と一緒に作成したもの。		
キーワード（見方・考え方）	・構想案に示す「本単元で働かせる見方・考え方」を、児童が学 習を進める時の方向性を決めたり、解決する時の手助けとして活 用できるように、短い言葉（キーワード）で示したもの。		
評価基準	★またはC	★★またはB	★★★またはA
	・もう少しでB基準（全 員が達成したい目標） の状態を児童がわかる 言葉で示したもの。	・B基準を児童がわかる 言葉で具体的に示した もの。 （赤枠で囲む）	・A基準を児童がわかる 言葉で具体的に示した もの。